

新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう留意事項

本競技会は、「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に準拠し、名古屋地区陸協の役員編成と選手参加数を考慮して競技会運営を行います。

ガイダンス最新版は、日本陸上競技連盟HP

(<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/>) に掲載をしておりますので、大会参加者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。また、今後ガイダンスの更新に当たり、大会要項を変更する可能性があります。予めご了承ください。

※来場時最初の検温等について

出場者はメインスタンド正面出入口でチェックを受けて入場可とします。

マネージャーは、補助員と同じ場所で受付をした後に、正面出入口から入退場してください。

団体受付・競技役員・補助員・マネージャーの受付は競技場南側出入り口前で実施します。

北陸状況では健康チェックカードのみ提示となります。

- 1) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（監督・コーチまたは引率顧問、保護者引率の場合は保護者）のみで来場してください。
- 2) 競技者及び引率者は競技会開催1週間前から検温を実施し、個人または団体ごとに指定の報告書（チェックリスト）に記載し、招集時に提出してください。書式については大会エントリーファイルに添付の様式を使用してください。
チェックリストを提出しない競技者及び引率者については、原則として競技場への入場及び参加を認めない場合があります。
- 3) 基本的な会場入場開始時間は、プログラムに記載の時間とします。
- 4) 各団体マネージャーは2名まで入場を認めます。必ず受付を行ってください。
- 5) 入場口及び退場口は限定しています。入場の際には必ず体調管理シート・ADカード・役員章等を提示してください。体調管理シート・ADカード等のない方は入場できません。
 - ①役員・補助員は競技場南側出入り口のみ使用してください。
 - ②北陸上競技場は、南側出入り口のみ使用となります。
 - ③北陸上競技場は、選手・競技役員・マネージャー以外は入場できません。
- 6) メインスタンドに各団体に待機場所を設けてありますが、これは選手権種目の予選通過者、個人種目終了後のリレー種目待ち、引率者、マネージャー、早朝準備生徒・補助員生徒を対象としたものであり、観戦用ではありませんのでご注意ください。
基本的には、各自の競技終了後は速やかに帰宅してください。
- 7) 競技中（ウォーミングアップを含む）以外はマスクの着用をお願いいたします。
- 8) 手洗い手指消毒の徹底をお願いいたします。
- 9) 体調管理シートは、すべての入場者に必須です。選手は、検温後に検印を受けてください。その後、招集に提出してください。
- 10) 声を出しての応援等は、一切禁止です。

競技注意事項

2020 名古屋地区選手権大会
兼 名古屋地区記録会

- 1 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。
* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

※WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定があり、2020年7月28日から即時有効となりました。国内大会ではゴールデングランプリ（以後GGP）・日本選手権ではこの改定が適用されますが、それ以外の競技会では主催者の判断となります。
名古屋地区主催大会では参加者数が非常に多く、移行期間中の靴底の検査が不可能なため、この規定を適用して大会を運営して参ります。そのため、トラック競技の800m以上の種目では、25mm以上の厚底シューズを使用して出場した場合は失格となります。規定詳細・使用できるシューズの靴底の厚さについては、注意事項最後に掲載した資料を参照してください。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけで構いません。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでも構いません。
- (2) トラック競技に出場する競技者のうち、オープンレーン種目出場者には写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却ください。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、瑞穂北陸上競技場とします。1日目は10時から100m、2日目は10時から1500mを実施していますので、競技役員の指示に従って実施してください。
器具は、スターティングブロックのみ貸し出します。
最終種目の招集開始時刻まで使用できます。
- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。
- (3) 本競技場2階雨天走路でのウォーミングアップは一切禁止します。
雨天時も使用禁止です。
- (4) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で出場競技者に限って、ウォーミングアップのために、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用しても構いません。
なお、1日目の110mH、100mH、2日目の400mH出場者に限り、競技開始5分前まで本競技場でのウォーミングアップを認めます。

ハードル種目の決勝進出者に限り、100mH・110mHは12時05分から、男女400mHは12時10分から本競技場でのウォーミングアップを認めます。
使用できるエリアについては、当日お知らせします。

持ち込みの牽引チューブやミニハードル等の使用は禁止します。

4 招集について

- (1) 本競技場実施種目の招集所は正面スタンド下、100m スタート付近競技者ホールに設けます。北陸上競技場実施種目の招集所は、北陸上競技場バックストレート北側倉庫に設けます。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなし出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	棒高跳び以外の種目	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行ってください。
- (2) 退場は、下記のとおりとします。

トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路を経て退場してください。
フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示に従ってください。

7 競技について

幾つかの種目では、エントリー数の関係で記録会エントリーの方を選手権に移動してあります。エントリーリストでご確認ください。

投てき競技は、すべての種目を北陸上競技場で行います。

(1) 表彰

今年度に限り選手権の表彰は、1位の選手権賞と賞状は1位～3位までとします。
表彰式は行いません。選手権賞・賞状は南側出入口でお渡しします。
記録会には、賞状等はありません。

(2) トラック競技

この大会のスタートは、日本陸上競技連盟・競技規則第162条7に基づいて行います。

・参加者数が非常に多いので、招集時間・スタート時間を細分化しています。

- ①スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）
- ②すべて写真判定装置を使用し、1/1000秒単位で判定します。同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④タイムレース種目の番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤男子5,000mはスタート後20分、女子5,000mはスタート後25分でレースを打ち切ります。
- ⑦レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができま

せん(DNFとなります)。

⑧リレーのオーダー用紙提出締切は、すべての組が1組の招集完了時間の1時間前とします。

(3) フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用できます。
- ④三段跳の踏切板は、男子11m・女子9mで行います。
- ⑤長さを競う種目は、**選手権のみトップ8**を実施します。

(4) その他

- ①競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条3bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。
- ②不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色(斜め半分形)のカード、除外は赤黒色(斜め半分形)のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

選手権(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m65	1m90	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後3cm
男子棒高跳	3m20	4m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	以後10cm
女子走高跳	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
女子棒高跳	2m20	2m40	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

記録会(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習		1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m40 1m85	1m65	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m85までは5cm、以後3cm
女子走高跳	1m25 1m60	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m65までは5cm、以後3cm

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫(フィニッシュライン付近)でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

※この大会は、WA規則第143条（TR5：シューズ）を適用して競技会を運営します。

さらに、シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さが種目ごとに定義されました。今大会は、以下の規定で実施します。規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

走高跳 靴底（ソール）全体 20mm（かかと含む）

走幅跳が 20mm に変更（ただし前部が踵部より厚くならない）。

トラック種目（1月の改定ではスパイク限定で上限 30mm だったのが、シューズという括りとなり）

800m 未満の種目は 20mm に変更、800m 以上の種目は 25mm に変更。

ただしトラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用（つまり 40mm の厚底シューズはトラックでは使用可能になる）。ロードは 40mm、クロスカントリー 25mm、マウンテンランニング・トレイルランニングは制限なし。

今大会はWA規則第143条（TR5：シューズ）を規定を適用して大会を運営のため、トラック競技の800m以上の種目では、25mm以上の厚底シューズを使用して出場した場合は失格となります。

11 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門時刻は、午前7時30分とします。それ以前には立ち入らないでください。競技開始時間ごとに入場開始時間が決められています。その時間にならないと競技場には入場できません。
- (2) **メインスタンドに各団体に待機場所を設けてありますが、これは選手権種目の予選通過者、個人種目終了後のリレー種目待ち、引率者、マネージャー・早朝準備生徒・補助員生徒を対象としたものであり、観戦用ではありません。**
基本的には、各自の競技終了後は速やかに帰宅してください。
- (3) ゴミはすべて、各団体、個人で持ち帰ってください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (4) **競技場正面・レクリエーション広場・野球場軒下等のスペースにシートやテントを利用して待機場所として使用することは一切禁止します**

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドの指定された区域のみとします。禁止された区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。